

宗像大会ナイターで酸化アルミニウム作り

2011. 9. 4 小樽分子模型の会 齋藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

2011年7月29日～31日行われた2011年仮説実験授業研究会 夏の全国合宿研究会 福岡
・宗像大会での分子模型ナイターのようすを紹介します。

○今年は酸化アルミニウムです

最近はナイターで分子模型を作るのが当たり前になってきました。ボクの中では冬の大会が終わったら、すぐに夏の大会のナイターはどうしようかなと思うのですが、正男さんと打合せを始めるのは3月の尼崎の会のあたりからだったと思います。

夏の大会の分子模型ナイターは10人くらいの人に来てくれるようになりました。ですから、10人以上が興味をもって来て、さらにそのほとんどの人がなんとか完成できる分子模型を選びたいと毎回思っています。冬はもう少しマニアックにしています。そこで、今年は酸化アルミニウムの結晶模型を作ろうと正男さんから連絡をもらい、ボクは酸素の赤球を用意し、正男さんはアルミニウムのオパール色の球を用意することにしました。1日では終わりそうにないとのことだったので、ナイターの事前申し込みの段階で2日間で作ることをお知らせしました。

○まずはハガキで作る角度定規から

実行委員会のはからいで、29日～31日までずーっと同じ部屋を使わせてもらえるようにしてくれたので、とても助かりました。ただ、説明不足で、29日の分科会の時間帯に部屋に来てくれた方がいたと聞き、申し訳なかったな一と思いました。

ナイターは8時から始まりました。最初は7、8人で始まりました。最初の課題は「ハガキで角度定規を作る」でした。大会近くになって、正男さんから「ハガキで角度定規を作れる」という連絡をいただき、何度か試作品も見せてもらいました。その角度定規作りからナイターはスタートしました。紙を折って正三角形にするところから始めて、どんどん角度定規を作っていました。これってすごい発明だと思うのですが、参加者のみなさんは早く酸化アルミニウムを作りたかったのか、感動がちょっと少なかったような…



○いよいよ酸化アルミニウム作りに

角度定規作りに2時間くらい使ったような気がします。それから酸化アルミニウム作りが始まりました。酸化アルミニウムは酸素の赤球とアルミニウムのオパール色を切らずに組み立てました。最初に酸素の赤球を、竹串を使って六角形に組み立て、設計図を見ながら爪楊枝を使ってアルミニウムを酸素の赤球に載せていきました。コツをつかむと結構早くできて、早い人は12時過ぎには今日の作業を終えてしまった人もいました。今回は2日間で作ると早くから宣言していたので、参加者のみなさんも余裕をもって作ることができたようです。



○昼間に出来なかった部分を作りに

今回は分子模型を移動させなくて済むように、ずっと同じ部屋を分子模型に貸してくれたので、朝や昼にもまだ完成していない部分を作ることができました。でも部屋が足りなくなり、分科会が午後に入ってしまった、ちょっと机を部屋の端に寄せるというアクシデントもありましたが、みなさん、時間をみつけて、それぞれのペースで作っていたようです。

○2日目の早い時間帯に完成しました

30日、2日目は組み立てです。と言っても、組み立てた7つの部品を重ねるだけなので、とても簡単でした。2日目から参加した人もいましたが、とても作業が早く、どんどん作ってしまいました。まあ、紙の角度定規を作らなければ、1日で酸化アルミニウムはできあがったんだな—と思いました。でも、せっかくすばらしい発明である紙の角度定規を紹介できたのは良かったと思っています。



みなさん、どんどん完成してしまったので、部屋の片付けも早めに行い、乾かすために置いていった酸化アルミニウムの部品を残し、ボクも早めに引き上げ、風呂に入ることもできたのでした。

○実行委員長の今谷さんにプレゼント

31日、3日目に完全に乾いた酸化アルミニウムをもって、本部へ行き、今谷さんにももらっていただきました。しばらく飾ってくれてとてもうれしかったです。

さて、来年は宮城県松島です。どんなナイターになるでしょう？ たくさん来てくれるといいな—。そして、また、一緒に分子模型を作りましょうね。